

『和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報2025』

史跡和歌山城「御小納戸蔵」の発掘調査 』

展示期間 令和7年8月20日（水）から8月28日（木）まで

場 所 和歌山市役所1階 市民ギャラリー

時 間 平日（月～金） 8時30分～17時15分 （木曜日は19時まで）

展示内容

史跡和歌山城二の丸北辺櫓群の遺構の内容及び保存状況を確認するための調査を令和6年に実施しました。

二の丸北辺櫓群のうち、「御小納戸蔵」を中心に調査を行いました。

御小納戸蔵に関連する櫓台上面の遺構は礎石が一部残されていたほか、御小納戸蔵の東側に櫓台石垣と土堀に伴う小規模な石垣が取り付いている状況が明らかになりました。

また、御小納戸蔵の石垣表面に9種類11個の刻印が確認できました。そのなかには和歌山城二の丸でみつかった浅野期石垣の刻印と共通する刻印があり注目されます。

これらの御小納戸蔵周囲の郭側で検出された土堀など遺構は、江戸時代後期の『和歌山御城内惣御絵図』に描かれた構造物と対応するものが多いため、検出された遺構面は江戸時代後期に対応すると考えられます。

今回の展示は、調査成果をパネルにし、出土遺物を展示しています。



御小納戸蔵周辺古写真（明治初年頃撮影）



和歌山御城内惣御絵図（「御小納戸蔵」周辺部分）